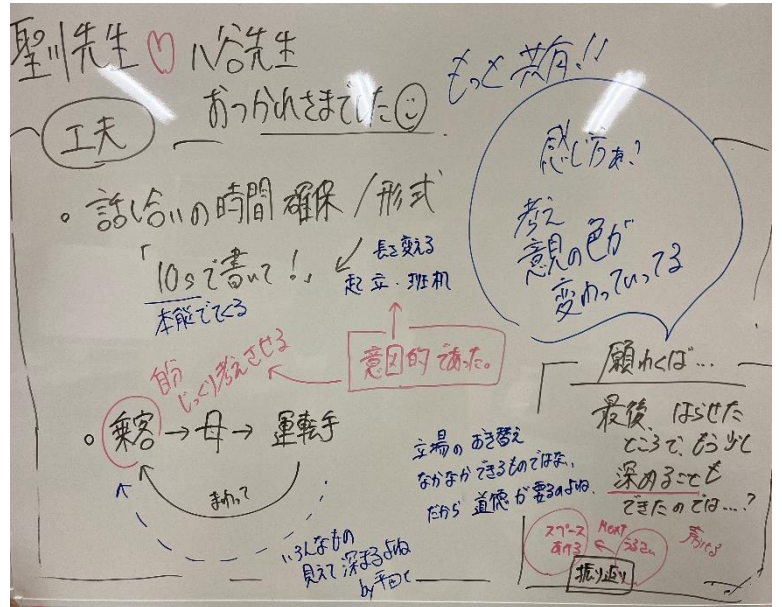


## 1 研究協議会

協議の柱 「お互いの存在を認め尊重し、意見を交流する活動の工夫はどうだったか。」

### ◎成果

- お互いの意見を否定しない受け止め  
→生徒が安心して自由に発言できた。
- 多様な交流方法  
→立って・身体だけ向けて・  
机を合わせて
- さまざまな立場での思考  
→乗客、運転手、母親の立場で考えることで、考えを深めることができた。
- ワークシートの工夫  
→班員の意見を書く場所があることで、  
他者の発言を集中して聞いていた。
- 繰り返し発問「本当にできるの」  
→自分事として考えることで、考えを  
深めることができた。



### ◎課題

- 最後のまとめを子どもの言葉で引き出させる。
- 生徒が意見をはった後、もう少し時間をかけることで考えを深められたのでは。

## 2 宮里教授 南角指導主事講話・助言

### ○道徳科の授業とは…

- 自分のことや自分の生き方を考え、本時の主題（価値観）についての考え深める活動である。授業で学ぶ価値観は、1時間の授業のなかで成り立つのもでなく、将来の“いつの日・いつの時”に思い浮かべるものとする。
- 普段、自分の考えや自分自身のことを他者に話さないが、道徳の授業ではそれができる。考える時間や意見発表や交流の時間を十分確保し、自己について考えさせる。
- 授業について迷ったときは、「主題」に戻り、その価値観について見直しを行う。
- 議論する場であり、登場人物の思いや考えをその立場に立ちしっかりと考え、話し合わせる。その後、“自分ならどうする”という当事者意識を持って、自分事として考えさせる。
- 生徒の考えを深めるために考えを揺さぶる発問を行う。自分事として考えたことが、当事者となった時、本当にできるのかを考えさせる（「それって、本当にできるの」）。実際の自分の姿と理想を実現するためには今の自分には足りない力（自分の弱さ）に目を向けることで、より考えを深めることができる。
- 繰り返し発問において、あえて人間の負の面に関する発問を投げかける。（「それはないと思うけど、どう思う？」生徒の本音が出てくることもある。そこから、繰り返し発問を続け、生徒の考えを揺さぶっていく。

今回の授業動画は、

「Google ドライブ→共有ドライブ→海田中学校→R04→道徳→20221116 研究授業」  
にあります。参考にしてください。

これからもみなさん、道徳の授業頑張ってください！！